

(19) **日本国特許庁(JP)**

(12) **公開特許公報(A)**

(11) 特許出願公開番号

特開2005-58319

(P2005-58319A)

(43) 公開日 平成17年3月10日(2005.3.10)

(51) Int.Cl.⁷

A63F 7/02

F 1

A 6 3 F 7/02

304D

A 6 3 F 7/02

326D

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2003-289819 (P2003-289819)

(22) 出願日 平成15年8月8日 (2003.8.8)

(71) 出願人 300007442

株式会社大和製作所

愛知県名古屋市中区小田井四丁目4 1 1
番地

(71) 出願人 597130144

株式会社バイザック

愛知県名古屋市西区中小田井4丁目4-1-1

(72) 発明者 寺澤 紀一

愛知県名古屋市西区中小田井四丁目4 1 1

番地株式会社大和製作所内

F ターム (参考) 2C088 BC23 BC25 CA27 DA09 EA15

(54) 【発明の名称】 パチンコ機

(57) 【要約】

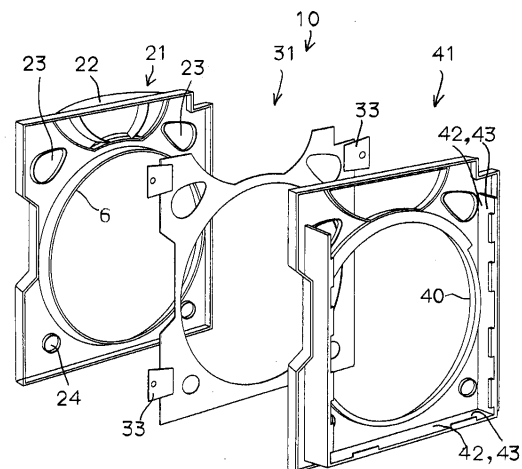
【課題】

パチンコ機前面扉の装飾意匠性が非常によく、簡単に綺麗に容易に表示することが可能で、また図柄意匠の交換作業も非常に容易で、従ってリサイクル性にも優れた前面扉を備えるパチンコ機を提供する。

【解決手段】

パチンコ機遊技盤の前面をガラス板で開閉可能に設けられ、中央部は前記ガラス板を通して遊技盤を見る窓6に設け、該窓の周囲はパチンコ機の前面を形成する前面扉10を持つパチンコ機であって、前記前面扉10は、前面側に外側から内側が透けて見える樹脂材料で窓枠体21を形成し、該窓枠体21の裏面に図柄意匠シート31を装着した。該図柄意匠シートは遊技盤を覆うガラス枠体41で挟着して保持する。パチンコ機の表面を形成する前面扉10の前面は図柄意匠シート31が視認されて表示される。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パチンコ機遊技盤の前面を開閉可能にガラス板を通して遊技盤を見る窓に設け、該窓の周囲はパチンコ機の前面を形成する前面扉を持つパチンコ機において、

前記前面扉の前面側に外側から内側が透けて見える樹脂材料の窓枠体を形成し、該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着し、前面扉の前面から前記窓枠体裏面の図柄意匠シートが視認可能に設けたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

前記図柄意匠シートは、前記パチンコ機の表面を形成する窓枠体とガラス板を保持するガラス枠体との間に前記図柄意匠シートを挟着したことを特徴とする請求項 1 記載のパチンコ機。 10

【請求項 3】

前記窓枠体は、内側に装着した図柄意匠シートが透視できる無色透明ないし有色透明な樹脂材料からなることを特徴とする請求項 1 乃至 2 記載のパチンコ機。

【請求項 4】

前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載のパチンコ機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

20

本発明は、遊技盤の遊技領域に遊技球を発射し遊技領域にある入賞口への入賞によって所定の賞球払出しが行われるパチンコ機に関し、さらに詳しくは、パチンコ機遊技盤の前面で開閉可能に設けられた前面扉に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、パチンコ機前面中央部の遊技盤には、遊技球が流下する遊技領域が設けられており、遊技領域の前方には 2 枚のガラス板が配置されている。この 2 枚のガラス板はガラス枠体によって支持されており、ガラス枠体とその前面の窓枠体と一体に組付けられて前面扉を形成し、遊技盤に対して開閉自在に設けられている。

【0003】

30

遊技者が注視する遊技盤については、通常ベニヤに所望の図柄、模様を画き出したセル板を貼着し、各種盤面部品が装着されている。この遊技盤に描かれた所望の図柄・模様を、2枚のガラス板を通して視る視覚的なインパクトを大きくするため、2枚のガラス板の間に、遊技盤面の図柄・模様と関連の有る図柄・模様を描いた半透明シートで、遊技盤面の図柄・模様も見られるようにした透明図柄シート部材を設け、これを前記 2 枚のガラス板の間に介装して遊技盤遊技領域の図柄意匠に変化を持たせる発明がなされている。

【0004】

上記技術は、中央部ガラス板越しに注視する遊技領域の図柄意匠に変化を持たせ遊技者を飽きさせないようにねらったものであるが、パチンコ機前面の遊技盤周囲を形成する前面扉について、即ち本願のパチンコ機遊技盤の前面で開閉可能に設けられ、中央部はガラス板を介して遊技盤を透視し、周囲はパチンコ機の前面を形成するパチンコ機の前面扉に関してのものではない。 40

【0005】

従来から前面扉については、窓枠体即ち前面扉の前面部品については、アクリル等の合成樹脂を射出成形して形成され、特にパチンコ機の前面に位置するパチンコ機正面の顔に当たるため、遊技盤の図柄に関連した図柄意匠ないし配色が施されている。

このパチンコ機正面の飾り図柄意匠については、パチンコ機の特徴となる図柄を描いた糊付シートを前面扉の前面に貼り付ける方法が行なわれている。この方法は、扉前面の貼付け部にシートの大きさの窪みを設け、この窪みに貼着作業の位置基準面として貼着し、また窪みによって貼付け後の剥がれ防止としている。 50

また前記前面扉、即ち窓枠体を射出成形する樹脂自体にカラー樹脂を用いて成形したり、或いは窓枠体の前面又は裏面に特殊塗装を施してパチンコ機の前面を演出している。

【0006】

本願出願の先行技術としては次のものがある。

【特許文献1】特開2001-170317

【特許文献2】特開平8-173612

【特許文献3】実公平7-45264

【特許文献4】特開平11-19307号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

10

【0007】

この場合、前面に塗装する方法は使用中に塗装が剥がれると醜くくなり、また多色印刷したポリカーボネイト樹脂製シートを金型に装着して射出成形する方法は、作業者が成形機に就いていなければならず、自動成形ができないので手間がかかり、困難な作業であった。このため窓枠体を透明樹脂で設け、この窓枠体の裏面にカラー塗装を施し、前面から裏面の塗装面が視認出来るようにしている。

しかし合成樹脂成形品にカラー塗装を施すのは非常に困難で、密着性を向上させるために塗装裏面に梨地加工等を施すと前面側からの見栄えが悪くなり、非常に困難な作業であった。また装飾意匠性を考慮した図柄模様塗装するのは実質不可能で、また多色の塗装も不可能で、通常単色カラー塗装しか行なうのが困難な状態であった。

20

更にまた一旦カラー塗装処理した窓枠体については、配色を変えるのは品質上の問題から不可能で、リサイクルが困難なものであった。

【0008】

本発明はこのような従来技術の問題点を解消するパチンコ機を提供するものであって、その目的は、パチンコ機前面扉の装飾意匠性が非常によく、簡単に綺麗に容易に表示することが可能で、また図柄意匠の交換作業も非常に容易で、従ってリサイクル性にも優れた前面扉を備えるパチンコ機を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本発明の請求項1の発明は、パチンコ機遊技盤の前面を開閉可能にガラス板を通して遊技盤を見る窓に設け、該窓の周囲はパチンコ機の前面を形成する前面扉を持つパチンコ機において、前記前面扉の前面側に外側から内側が透けて見える樹脂材料の窓枠体を形成し、該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着し、前面扉の前面から前記窓枠体裏面の図柄意匠シートが視認可能に設けたことを特徴とするパチンコ機である。

30

【0010】

本発明は上記の構成であって、窓枠体はいわゆる透けて見える樹脂材料で形成されており、この透明な窓枠体の裏面に図柄意匠シートが装着されている。従って窓枠体の前面即ち前面扉の前面から意匠シートの図柄意匠を容易に視認できる。この図柄意匠シートは例えば印刷容易な紙でも可能で、細かい各種カラーで表示されたキャラクターや、また写真画像なども自由に前面扉の前面に表示させる事ができる。

40

更にこの前面扉の図柄意匠表示は、窓枠体裏面の意匠シートを交換するだけで、所望の図柄意匠の前面扉に形成できるため、従来のように異なる図柄意匠の別の前面扉と交換する必要がなく、容易にイメージの異なった遊技者に新鮮な感じを与えるパチンコ機が設けられる。

【0011】

本発明の請求項2の発明は、前記図柄意匠シートは、前記パチンコ機の表面を形成する窓枠体とガラス板を保持するガラス枠体との間に前記図柄意匠シートを挟着したことを特徴とする請求項1記載のパチンコ機である。

【0012】

即ち、前面扉は前記窓枠体の裏面にガラス枠体を組付けてガラス板を保持するので

50

、このガラス枠体で前記図柄意匠シートを前部の窓枠体裏面に挟着し、一体の前面扉を形成することができる。

更に、図柄意匠シートは透明材料の窓枠体に装着してあればよく、窓枠体に保持する方法としては、図柄意匠シートの裏面からガラス板を保持するガラス枠体を窓枠体に組付けて挟着してもよく、また別の図柄意匠シート押さえ部品で窓枠体裏面に保持しても良く、またガラス枠体に図柄意匠シートを貼付けこのガラス枠体を窓枠体に組付けて窓枠体裏面に図柄意匠シートを装着してもよく、また窓枠体の図柄意匠装着部隅角部裏面に小突起を突出して設けこの小突起で図柄意匠シートを保持してもよい。

【0013】

本発明の請求項3の発明は、前記窓枠体は、内側に装着した図柄意匠シートが透視できる無色透明ないし有色透明な樹脂材料からなることを特徴とするパチンコ機である。 10

【0014】

例えば窓枠体をクリアな無色透明な樹脂材料で形成することができ、図柄意匠シートの図柄意匠通りの状態で前面に表示される。また窓枠体の成形材料に各種カラーが入った透けて見える樹脂材料で形成することもでき、この場合は、このカラーと共に図柄意匠シートの図柄が表示される。

【0015】

本発明の請求項4の発明は、前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とするパチンコ機である。

【0016】

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートであってもよく、また自然の布生地を表示してもよく、図柄が織り込まれた布生地を表示するようにしてもよく、更にまた、印刷カラー表示に夜光塗料など特殊なインクで表示したものをを用いて、実際の使用される環境での照明具合に応じてカラー表示が変化する様に設けてもよい。これによって、これまでにない変化に富んだパチンコ機の前面表示が行えるものである。 20

【発明の効果】

【0017】

本発明の効果は、窓枠体の前面即ち前面扉の前面から裏面に装着したシートの図柄意匠を視認できる。この図柄意匠シートは使用中に剥がれることがなく、またシートを交換することで図柄を容易に替えることができ、更にシートは印刷容易な紙でよいから、これまで単色でしか表示できなかった前面扉の表示が、各種カラーで表示され、しかもカラーのキャラクターや写真画像などでも自由に表示させる事ができ、大きなインパクトでもってしかも容易に、しかも図柄シートの交換だけで新規図柄の前面扉に出来るのでリサイクル性も非常に容易になったものである。 30

従って、従来のように異なる図柄意匠の前面扉と交換せずとも、常に新鮮な感じで表現できるパチンコ機が非常に容易に設けられる。

【0018】

窓枠体の裏面に保持する図柄意匠シートの保持については、窓枠体の裏面に装着してあればよく、別体のシート押さえで窓枠体に保持でき、シート押さえの裏面でガラス板を保持するガラス枠体を窓枠体に固定してもよく、ガラス板を保持するガラス枠体で図柄意匠シートを窓枠体に挟着してもよく、ガラス枠体に図柄意匠シートを貼付けてこのガラス枠体を窓枠体に組み付けても良く、窓枠体の裏面にシートに係止する為の小突起を設けて図柄意匠シートを保持しても良い。 40

窓枠体は、クリアな無色透明の樹脂材料や、各種カラーでも透けて見える樹脂材料が用いられ、カラー透明材料を通して窓枠体内部の図柄意匠シートが表示される。

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートが用いられ、また布など自然の生地を表示するものであってもよく、更に木の葉や押し花なども用いることができるから、これまでにない、変化に富んだパチンコ機の前面扉意匠表示が行えるものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

本発明の最良の形態は、パチンコ機遊技盤の前面で開閉可能に設けられ、中央部はガラス板を介して遊技盤を透視し、周囲はパチンコ機の前面を形成する前面扉を持つパチンコ機であって、前記前面扉は、前面側に外側から内部が透けて見える樹脂材料で形成した窓枠体と、該窓枠体の裏面に装着した図柄意匠シートと、該図柄意匠シートの裏面でガラス板を装着するガラス枠体とを組み付けて設けられる。前面扉は内部の図柄意匠シートによって、多彩な表示が可能になった前面枠をもつパチンコ機が得られる。

【実施例 1】

【0020】

以下、本発明の実施形態につき、図面に基づいて説明する。

図1は、パチンコ機1の前部を示す斜視図であって、パチンコ機1には、木製の外枠2があり、外枠2の左上に連結部3があり、左下に本体枠連結金具16があり、中枠5が左上連結部3に、また左下の本体枠連結金具16に枢着され、外枠2の左側縁に対して片開き自在に設けられている。中枠5に略四角形状の遊技盤（図示せず）やパチンコ機の内部機構（図示せず）が支持装着されている。

【0021】

さらに、中枠5の前面であって、遊技盤7の前面には略円形状の窓6を有す前面扉10が左側の連結部3と連結金具4を軸に開閉自在に設けられている。前面扉10の開口部後方に、遊技盤7及び遊技盤の遊技領域8がある。前面扉10の下部には供給皿12を備えた上受け皿11が、また上受け皿11の下部には貯留皿14と灰皿15とを備えた下受け皿13が、左側の各連結金具に支持されて開閉自在に取り付けられている。外枠2の左側端に設けられているのはプリペイドカードユニット9である。

【0022】

前面扉10は、図2に示すように、一体成形されたアクリル製のクリア透明樹脂で形成された窓枠体21と、窓枠体21の裏面に装着した図柄意匠シート31と、該図柄意匠シート31の裏面で窓枠体21と一体に組付けたガラス枠体41とからなる。前面扉10の大きさは全体がパチンコ機の上半分程度で、ほぼ正形状に形成されている。

図1、図2において、前面扉10、即ち窓枠体21の前面上部にランプ飾り22が突出して設けてあり、このランプ飾り22の両側に凸レンズで卵形状の飾り窓23、23が、また前面下部両側に円形の表示窓24、24を設けてある。上記の各ランプ飾り22、飾り窓23、表示窓24には、それらの各後部にLEDランプや表示シールが装着されており、遊技状態の変化に応じて各窓のランプが点滅し、各窓22、23、24の表示状態に応じて遊技者にゲームの進行状態を知らせるようになっている。

【0023】

図2において、窓枠体21の後面に、図柄意匠シート31が上記各ランプ飾り22、飾り窓23、表示窓24部分を除いて装着されている。図柄意匠シート31は、表示側にパチンコ遊技機1の名称や遊技盤面の図柄・模様と関連する図柄・模様が描かれており、従来は単色でしか表現できない前面枠10がパチンコ機1の名称や遊技盤面の図柄・模様とも関連して、全体がマッチングするようにカラーの図柄意匠が表側に記載され、表示される。

この図柄意匠シート31は、印刷が容易で不透明な紙、樹脂、布製シート等が用いられる。不透明な紙や樹脂シートに印刷した場合、大量に安価に容易に図柄意匠32を設けることが可能で、また図柄の変更も容易である。

更に図柄に夜光塗料などの特殊インキを用いることも可能で、照明によってカラーが変化する様に設ける事も可能である。また印刷が施されてなく、例えば各種無地の布及び模様や柄が織り込まれた布、また自然の木の葉や花びら等も意匠シート31として表示できる。

【0024】

なお、図柄意匠シート31は1枚でなく、例えば右半分と左半分のシートを組み合わせても良く、更にキャラクターなどの図柄を部分的に適宜位置に挟みこむことも可能で、図柄意匠シートがいっそう容易に効果的に設けることができる。

上記の図柄意匠シート31のランプ飾り22、飾り窓23、表示窓24部分はくり貫かれており

、この部分はランプ表示に行なわれるようにしてある。

この図柄意匠シート31は、例えば意匠シート押さえ33を用いて窓枠体21の裏面に固定してもよく、また窓枠体21に固定するガラス枠体41によって挟着し保持してもよい。また窓枠体21にシート保持用の小突起を四隅に突出させ、この小突起で図柄意匠シート31に係止し保持するようにしても良い。

【0025】

ガラス枠体41は窓枠体21より一回り小さいほぼ正方形の枠であって窓枠体21の窓6とほぼ同寸の円形開口部40を備え、また裏面に遊技盤7を覆う2枚のほぼ正方形ガラス板を装着するガラス板挿入レール42、43が両側部と低部に設けられている。

このガラス枠体41は通常樹脂製で、窓枠体21とビスや取り付け具で固定し又は窓枠体21から突出す矢尻状の係止突起に嵌合し、窓枠体21、前記図柄意匠シート31と一体に固定される。裏面のガラス板挿入レール42、43にはほぼ正方形のガラス板が2枚挿入され、前面扉10として使用される。

【産業上の利用可能性】

【0026】

パチンコ機であって、特に前面扉を有すパチンコ機に最適なもので、更に前面扉の下部の上受け皿や下受け皿にも摘要できる。

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図1】本発明の一実施例を示すパチンコ機の正面を示す斜視図である。

【図2】本発明の一実施例を示すパチンコ機の前面扉の構成を示す斜視図である。

【符号の説明】

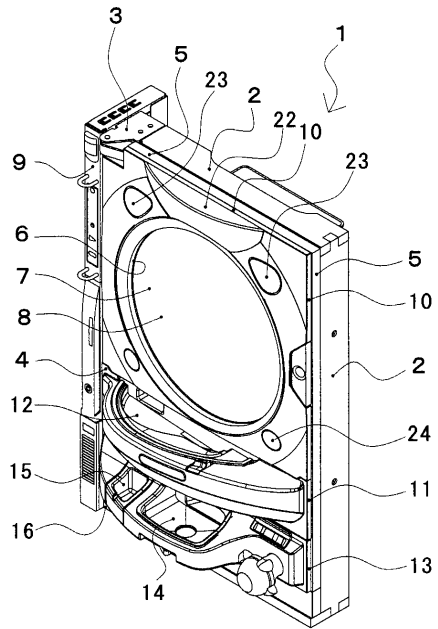
【0028】

- 1 パチンコ機
- 2 外枠
- 3 連結部
- 4 連結金具
- 5 中枠
- 6 窓
- 7 遊技盤
- 8 遊技領域
- 9 プリペイドカードユニット
- 10 前面扉
- 11 上受け皿
- 12 供給皿
- 13 下受け皿
- 14 貯留皿
- 15 灰皿
- 16 連結金具
- 21 窓枠体
- 22 ランプ飾り
- 23 飾り窓
- 24 表示窓
- 31 図柄意匠シート
- 33 シート押さえ
- 41 ガラス枠体
- 42、43 ガラスレール

30

40

【図 1】



【図 2】

